

2025年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年3月17日

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所 東
 コード番号 3169 URL <https://www.misawa-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 裕之 (TEL) 03-5793-5500
 定時株主総会開催予定日 2025年4月24日 配当支払開始予定日 2025年4月25日
 有価証券報告書提出予定日 2025年4月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期の業績(2024年2月1日~2025年1月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期	12,637	4.6	325	401.0	323	560.7	187	1,427.2
2024年1月期	12,085	△0.9	64	△87.8	48	△90.7	12	△96.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年1月期	26.50	—	6.0	6.3	2.6
2024年1月期	1.73	—	0.4	1.0	0.5

(参考) 持分法投資損益 2025年1月期 ー百万円 2024年1月期 ー百万円

経営成績に関する注記

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期	5,082	3,171	62.4	449.16
2024年1月期	5,164	3,043	58.9	430.70

(参考) 自己資本 2025年1月期 3,171百万円 2024年1月期 3,043百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月期	357	△254	△117	1,103
2024年1月期	825	△304	△44	1,117

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年1月期	—	0.00	—	8.00	8.00	56	461.9	1.8
2025年1月期	—	0.00	—	8.00	8.00	56	30.2	1.8
2026年1月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00		25.1	

3. 2026年1月期の業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,595	4.6	205	206.1	205	244.1	139	434.1	19.7
通期	13,224	4.6	353	8.6	353	9.4	225	20.2	31.9

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期	7,112,400 株	2024年1月期	7,112,400 株
② 期末自己株式数	2025年1月期	50,635 株	2024年1月期	46,635 株
③ 期中平均株式数	2025年1月期	7,068,589 株	2024年1月期	7,083,926 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、物価高騰の影響で個人消費が伸び悩んだものの、各種政策の効果もあり雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰、世界的な金融引き締めに伴う円安の常態化、不安定な海外情勢の長期化など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

インテリア・家具業界におきましては、倉庫・店舗・オフィス等の賃料コストや、配送コストの上昇及び原材料価格の上昇、人材不足による人件費の増加等により、依然として厳しい競争環境が続いております。

一方、2023年の「生活雑貨、家具、インテリア」のBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、2兆4,721億円（前年比5.0%増）、EC化率は、31.5%（前年比1.9%増）となっております（出典：令和5年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査） 2024年9月経済産業省）。「生活雑貨、家具、インテリア」につきましては、市場規模、EC化率ともに物販系分野のなかでも高い値となっており、更なる売上の拡大を見込んでおります。

こうした環境の中で当社は、持続的に安定した成長の実現に向け、商品構成の充実と付加価値の高い商品を揃え、他社との差別化を図ってまいりました。

その結果、売上高12,637,840千円（前年同期比4.6%増）、営業利益325,650千円（前年同期比401.0%増）、経常利益323,341千円（前年同期比560.7%増）、当期純利益187,357千円（前年同期比1,427.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①unico事業

商品戦略としましては、ヴィンテージ感のある蛇腹式の扉が特徴のDEMI（デミ）シリーズや、天板と脚の組み合わせによって、お好みのカスタマイズをお楽しみいただけるHILMA（ヒルマ）シリーズを発売しました。また、ラグにおいて新たにペット対応の生地を使ったEPET（エペット）シリーズや、サステナブルでオーガニックなクッションカバーのKEPPI（ケッピ）シリーズを発売しご好評を頂きました。

販売戦略としましては、売上拡大に向け、社内の資格制度でUA（ウニコアドバイザー）を設け、お客様に対しより専門的的確なご提案を提供してきました。ECにおきましては、プラットフォームを変更しSEO対策の精度を上げ、さらにインフルエンサーとのコラボにより多くの方々にブランドを訴求しました。店舗戦略では、新規出店として新潟駅ビルにunico新潟の出店のほか、高グロス既存店であるunicoなんばの増床リニューアルとunico岡山を移転リニューアルしました。

以上の結果、当事業年度のセグメント売上高は12,606,004千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益330,121千円（前年同期比397.6%増）となりました。

②food事業

飲食業界における慢性的な人員不足という経営環境及び、unico事業部とのシナジー効果も限定的であることを踏まえて、2024年9月30日をもって当社店舗bistro oeuf oeufを閉店としました。これによりfood事業からの撤退となりました。

以上の結果、当事業年度のセグメント売上高は31,836千円（前年同期比55.6%減）、セグメント損失4,470千円（前年同期は1,347千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における総資産の残高は、前事業年度末に比較して82,497千円減少し、5,082,275千円となりました。

流動資産の残高は、前事業年度末に比較して172,144千円減少して、3,625,761千円となりました。主な要因は、商品の増加181,569千円、売掛金の減少311,601千円等があったことによるものであります。

また、固定資産の残高は、前事業年度末に比較して89,647千円増加して、1,456,514千円となりました。主な要因は、無形固定資産の増加78,143千円、繰延税金資産の増加33,822千円等がありましたが、敷金及び保証金の減少21,567千円等があったことによるものであります。

(負債の部)

当事業年度末における負債の残高は、前事業年度末に比較して211,123千円減少し、1,910,394千円となりました。

主な要因は、未払法人税等の増加140,641千円等がありましたが、買掛金の減少80,329千円、契約負債の減少266,696千円等があったことによるものであります。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比較して128,626千円増加し、3,171,881千円となりました。主な要因は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加187,357千円がありましたが、剰余金の配当による利益剰余金の減少56,627千円等があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、営業活動による収入が投資活動及び財務活動による支出を下回ったため前事業年度末に比べ13,622千円減少し、1,103,656千円となりました。なお、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果、357,928千円の収入（前年同期は825,149千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益281,466千円、減価償却費130,825千円、売上債権の減少による収入311,525千円、棚卸資産の増加による支出112,311千円、契約負債の減少による支出266,696千円等の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果、254,034千円の支出（前年同期は304,880千円の支出）となりました。これは主に、新規出店及び既存店舗のリニューアル等に係る有形固定資産の取得による支出87,463千円、新規出店等に係る敷金及び保証金の差入による支出14,589千円、システム改修等に係る無形固定資産の取得による支出151,555千円等の計上によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果、117,515千円の支出（前年同期は44,250千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金返済による支出24,996千円、配当金の支払による支出56,627千円、自己株式の取得による支出35,892千円等の計上によるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年1月期の大きな施策としては以下の3つ①ブランド理解とその発信、②知識集約型組織への転換、③販路と商品(顧客タッチポイント)の拡大を掲げています。それに向け、ブランドの社内外への発信ツールとなる「unicoブランドブック」を作成します。また新たな顧客とのタッチポイントとして、ソーシャルギフトの試みや優良顧客戦略を開始します。また、下期には基幹システムの入替えにより、今まで以上の効率化、生産性向上を進めて参ります。

以上を踏まえ、業績予想につきましては、売上高13,224,025千円(前年同期比4.6%増)、営業利益353,610千円(前年同期比8.6%増)、経常利益353,610千円(前年同期比9.4%増)、当期純利益225,231千円(前年同期比20.2%増)を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、財務情報の期間比較や他社との比較可能性を考慮するとともに、海外からの資金調達の実用性が乏しいことを勘案し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢の変化により、その必要性が高まった際には適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,279	1,103,656
売掛金	856,729	545,127
商品	1,496,433	1,678,002
未着品	174,168	123,686
原材料及び貯蔵品	23,641	4,908
前渡金	14,386	45,233
前払費用	90,510	107,322
未収還付法人税等	9,212	-
その他	15,544	17,823
流動資産合計	3,797,905	3,625,761
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	385,731	381,913
車両運搬具(純額)	560	400
工具、器具及び備品(純額)	38,520	28,958
土地	814	814
建設仮勘定	4,101	5,588
有形固定資産合計	429,727	417,674
無形固定資産		
ソフトウェア	101,052	100,096
ソフトウェア仮勘定	35,500	114,600
その他	236	236
無形固定資産合計	136,788	214,932
投資その他の資産		
敷金及び保証金	515,841	494,273
長期前払費用	11,772	19,783
繰延税金資産	229,951	263,773
その他	42,785	46,076
投資その他の資産合計	800,350	823,907
固定資産合計	1,366,867	1,456,514
資産合計	5,164,773	5,082,275

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	441,572	361,243
1年内返済予定の長期借入金	24,996	24,996
未払金	340,029	368,733
未払費用	120,694	165,579
未払法人税等	-	140,641
未払消費税等	65,109	24,716
預り金	17,640	8,187
賞与引当金	69,940	59,526
契約負債	927,853	661,156
その他	1,221	907
流動負債合計	2,009,056	1,815,687
固定負債		
長期借入金	54,174	29,178
退職給付引当金	40,080	47,284
資産除去債務	18,206	18,243
固定負債合計	112,461	94,706
負債合計	2,121,517	1,910,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	380,485	380,485
資本剰余金		
資本準備金	360,485	360,485
資本剰余金合計	360,485	360,485
利益剰余金		
利益準備金	160	160
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,331,721	2,462,552
利益剰余金合計	2,331,881	2,462,712
自己株式	△29,595	△31,800
株主資本合計	3,043,255	3,171,881
純資産合計	3,043,255	3,171,881
負債純資産合計	5,164,773	5,082,275

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
売上高	12,085,442	12,637,840
売上原価		
商品期首棚卸高	1,755,349	1,496,433
当期商品仕入高	5,879,286	6,527,770
合計	7,634,635	8,024,203
商品期末棚卸高	1,496,433	1,678,002
商品売上原価	6,138,202	6,346,201
売上総利益	5,947,240	6,291,638
販売費及び一般管理費	5,882,244	5,965,988
営業利益	64,996	325,650
営業外収益		
受取利息	27	122
運送事故受取保険金	3,088	5,559
助成金収入	302	163
その他	2,017	2,336
営業外収益合計	5,435	8,181
営業外費用		
支払利息	292	765
為替差損	21,042	8,018
その他	154	1,706
営業外費用合計	21,489	10,490
経常利益	48,942	323,341
特別損失		
固定資産除却損	1,842	29,970
減損損失	21,994	11,904
特別損失合計	23,836	41,875
税引前当期純利益	25,105	281,466
法人税、住民税及び事業税	31,077	127,931
法人税等調整額	△18,239	△33,822
法人税等合計	12,837	94,108
当期純利益	12,268	187,357

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	380,485	360,485	360,485	160	2,390,428	2,390,588	△9,906	3,121,653	3,121,653
会計方針の変更による累積的影響額								-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	380,485	360,485	360,485	160	2,390,428	2,390,588	△9,906	3,121,653	3,121,653
当期変動額									
自己株式の取得							△52,325	△52,325	△52,325
自己株式の処分							32,635	32,635	32,635
剰余金の配当					△70,975	△70,975		△70,975	△70,975
当期純利益					12,268	12,268		12,268	12,268
当期変動額合計	-	-	-	-	△58,707	△58,707	△19,689	△78,397	△78,397
当期末残高	380,485	360,485	360,485	160	2,331,721	2,331,881	△29,595	3,043,255	3,043,255

当事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	380,485	360,485	360,485	160	2,331,721	2,331,881	△29,595	3,043,255	3,043,255
会計方針の変更による累積的影響額								-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	380,485	360,485	360,485	160	2,331,721	2,331,881	△29,595	3,043,255	3,043,255
当期変動額									
自己株式の取得							△35,892	△35,892	△35,892
自己株式の処分							33,687	33,687	33,687
剰余金の配当					△56,526	△56,526		△56,526	△56,526
当期純利益					187,357	187,357		187,357	187,357
当期変動額合計	-	-	-	-	130,831	130,831	△2,205	128,626	128,626
当期末残高	380,485	360,485	360,485	160	2,462,552	2,462,712	△31,800	3,171,881	3,171,881

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	25,105	281,466
減価償却費	134,724	130,825
減損損失	21,994	11,904
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,636	△10,413
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,819	7,203
受取利息	△27	△122
支払利息	292	765
固定資産除却損	1,842	29,970
受取保険金	△3,088	△5,559
助成金収入	△302	△163
売上債権の増減額(△は増加)	△254,761	311,525
棚卸資産の増減額(△は増加)	233,145	△112,311
仕入債務の増減額(△は減少)	164,436	△81,339
前渡金の増減額(△は増加)	17,698	△30,847
未払金の増減額(△は減少)	55,675	28,930
未払消費税等の増減額(△は減少)	62,369	△38,858
契約負債の増減額(△は減少)	395,169	△266,696
その他	42,825	79,667
小計	914,556	335,948
利息及び配当金の受取額	25	105
利息の支払額	△316	△780
保険金の受取額	3,088	5,559
助成金の受取額	302	163
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△92,507	16,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	825,149	357,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△220,014	△87,463
無形固定資産の取得による支出	△66,186	△151,555
敷金及び保証金の差入による支出	△42,157	△14,589
敷金及び保証金の回収による収入	23,478	-
その他	-	△427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304,880	△254,034
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△86	-
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△20,830	△24,996
自己株式の取得による支出	△52,325	△35,892
配当金の支払額	△71,008	△56,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,250	△117,515
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	476,019	△13,622
現金及び現金同等物の期首残高	641,259	1,117,279
現金及び現金同等物の期末残高	1,117,279	1,103,656

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(損益計算書関係)

※1 たな卸資産の帳簿価額の切下げ

期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	
商品評価損	△24,360千円

※2 減損損失

当事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

場所	用途	種類
長崎県長崎市	unico事業用店舗	建物及び構築物、工具、器具及び備品

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗又は事業所を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

unico事業用店舗に関しましては、収益性の低下により投資の回収が見込めなくなったことに伴い、対象店舗につき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し当該減少額を減損損失11,904千円として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物11,204千円、工具、器具及び備品700千円であります。なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、回収可能性が認められないため、ゼロとして評価しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社は、取り扱う商品及び製品・サービスを基礎に、報告セグメントを「unico事業」と「food事業」に分類しております。各事業は、それぞれの取り扱う商品及び製品・サービスについて店舗運営を展開しており、その内容につきましては次のとおりであります。

事業区分	区分に属する事業内容
unico事業	家具・ファブリック等及びインテリア・雑貨等の企画・販売
food事業	産地直送の新鮮な食材を使用した料理を提供するレストランの運営

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	財務諸表 計上額
	unico事業	food事業			
売上高					
店舗	9,593,562	71,692	9,665,255	—	9,665,255
EC	2,420,187	—	2,420,187	—	2,420,187
顧客との契約から生じる収益	12,013,750	71,692	12,085,442	—	12,085,442
外部顧客への売上高	12,013,750	71,692	12,085,442	—	12,085,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,013,750	71,692	12,085,442	—	12,085,442
セグメント利益又は セグメント損失(△)	66,343	△1,347	64,996	—	64,996
セグメント資産	3,558,351	9,707	3,568,058	1,596,714	5,164,773
その他の項目					
減価償却費	121,794	271	122,065	12,658	134,724
減損損失	21,994	—	21,994	—	21,994
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	283,961	130	284,091	499	284,591

(注) 1. セグメント資産の調整額は、当社の管理部門等に係る資産等です。

2. 減価償却費の調整額は、全社資産に係る資産等です。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものです。

4. セグメント利益又はセグメント損失は、財務諸表の営業利益又は営業損失と一致しています。

当事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	財務諸表 計上額
	unico事業	food事業			
売上高					
店舗	10,097,011	31,836	10,128,847	—	10,128,847
EC	2,508,992	—	2,508,992	—	2,508,992
顧客との契約から生じる収益	12,606,004	31,836	12,637,840	—	12,637,840
外部顧客への売上高	12,606,004	31,836	12,637,840	—	12,637,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,606,004	31,836	12,637,840	—	12,637,840
セグメント利益又は セグメント損失(△)	330,121	△4,470	325,650	—	325,650
セグメント資産	3,497,210	—	3,497,210	1,585,065	5,082,275
その他の項目					
減価償却費	123,493	50	123,544	7,281	130,825
減損損失	11,904	—	11,904	—	11,904
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	236,578	—	236,578	2,213	238,791

- (注) 1. セグメント資産の調整額は、当社の管理部門等に係る資産等です。
2. 減価償却費の調整額は、全社資産に係る資産等です。
3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものです。
4. セグメント利益又はセグメント損失は、財務諸表の営業利益又は営業損失と一致しています。

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
該当事項はございません。

(持分法損益等)

該当事項はございません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
1株当たり純資産額	430.70円	449.16円
1株当たり当期純利益金額	1.73円	26.50円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	12,268	187,357
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	12,268	187,357
期中平均株式数(株)	7,083,926	7,068,589

(重要な後発事象)

該当事項はございません。